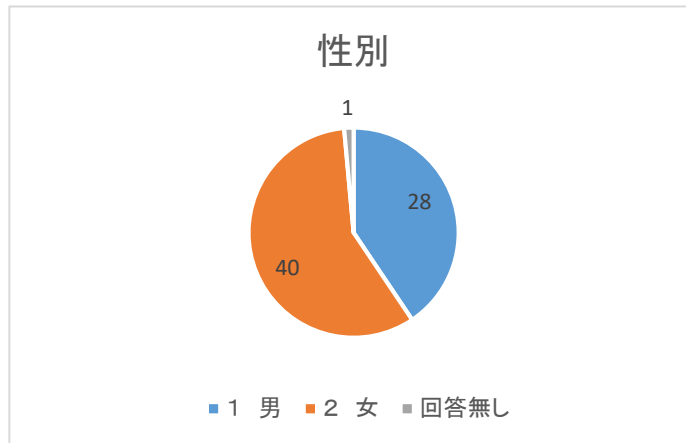


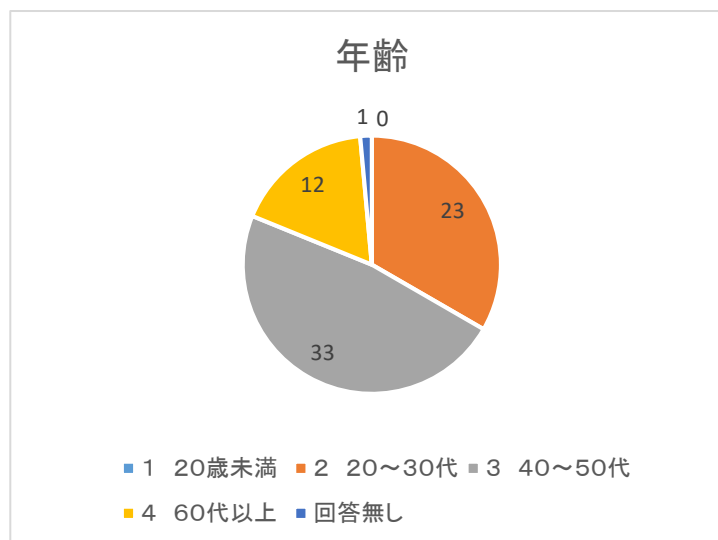
不登校の研修会アンケート結果(問1～問8)

アンケート提出者69名
参加者80名(スタッフ含む)

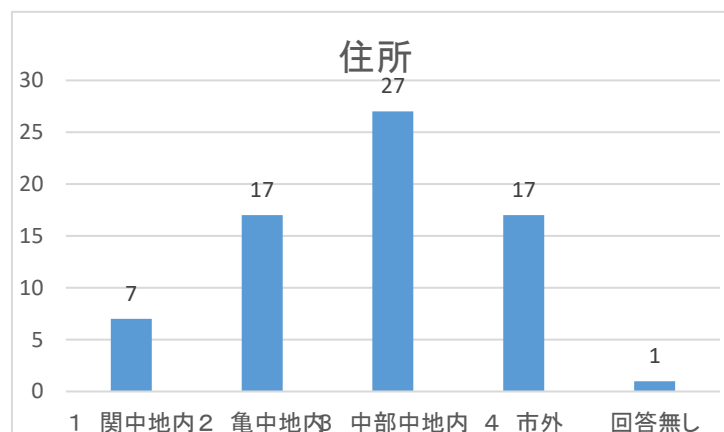
問1 性別を教えてください。



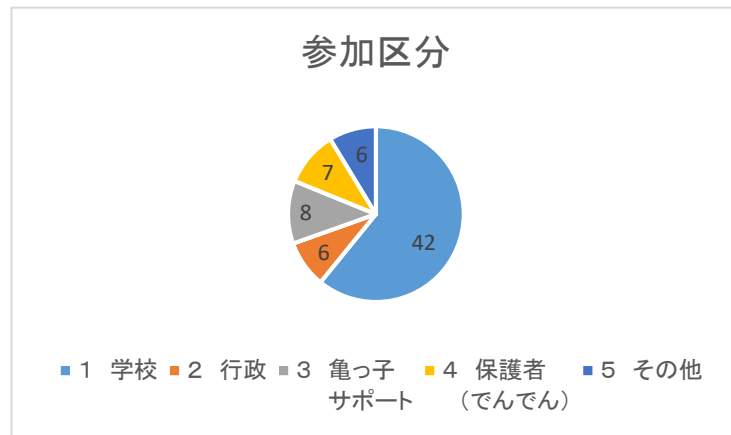
問2 年齢を教えてください。



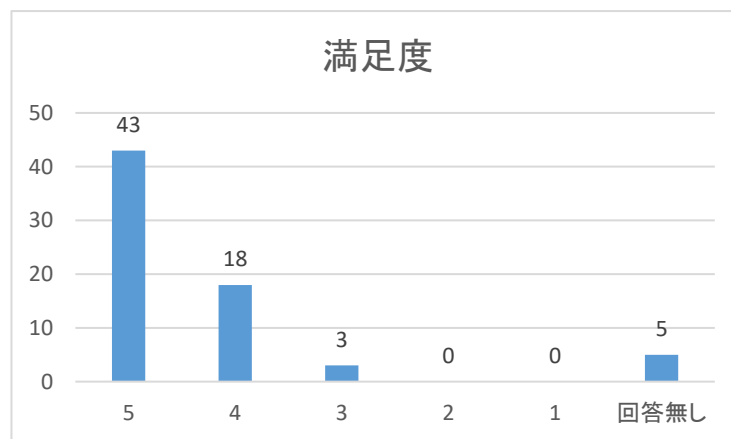
問3 住所を教えてください。



問4 参加区分を教えてください。



問5 今回の研修会の満足度を教えてください。(満足度に○)



問6 今日の研修会の感想や意見をお聞かせください。

1	保護者の方の意見を聞くことで、自分の教育のあり方を改めて振り返ることができました。不登校についての答えというものが無い中でどう導いてあげるのか考えていきたい
2	保護者の思いが直接聞いてわかり、とても勉強になりました。特に「うれしかった、残念だった事例」を聞くことができ「この対応がよかったんだ」「これがいけなかったのか」と励みにもなり、反省することにもつながりました。自分が忙しかったり、イライラしていても、子どもや保護者に寄り添えるようにしたいです。
3	「でんでんの会」ってどんな会なのか知ろうと思い参加しました。保護者の思いを聞き、そしてグループワークでそれぞれの立場で思いを出し合い、とても貴重な時間でした。またこのような会があれば参加したいです。ありがとうございました。
4	1部の保護者の方の経験談は、たいへんわかりやすくまとめられていて、単なる学校への不満を述べるだけでなく問題点を提起されているのが素晴らしいと思いました。グループの単位も構成もよくて、話がしっかりできました。この会にいつも参加されている先生が決まってくるのはありがたいけど、まだこられていない先生にぜひ参加して
5	保護者や支援者の方々から話を聞いて、本音や思いを知れてよかったです。
6	とてもたくさんの先生方が見えていたのでうれしく思いました。学校で職員会議などの場で、今日のことをぜひ話してほしいと強く思います。来年もこういった会を開催して
7	保護者さんの貴重な話を聞けるととても良い機会となった。学校の対応の「あり」yes「なし」noは、生徒によって異なることである。ただ一人担任のみの対応は難しく支援の在り方を考えるべき。
8	直接不登校の子どもを抱える保護者の話を聞く機会は少ないので、とても良い研修でした。学校だけでなく、福祉や医療、地域の周り中で子どもや家庭を支えていく仕組みができればと思います。
9	1回きりではなくて、続けてこういう会を作ってほしいです。こんなにたくさんの学校関係者の方々も興味や深く知ろうとしてくださっているんだと感じました。
10	学校の先生たちの話を聞く機会になったことすごくありがたかったです。人数が集まればそれだけ多くの意見が出るということを実感し、さらにそれを否定することなく話し合える場の大切さを知りました。
11	先生方がしっかり保護者の話を聞いてくれたことが印象的でした。
12	先生方がとても熱心に話を聞いて下さり、とてもありがたかったです。先生方も悩んでいて、どうして良いか困って見えるので、教育委員会、亀山市として、先生の支援もしていただきたいと思います。
13	先生方が前向きに子どもに関わってくださっているのが、うれしかったです。
14	不登校の子、親の思いを先生方や支援者たちに知ってもらう良い機会になった。
15	不登校のお子さんを持つ保護者の方の話を直接本音を交えて聞くことができありがたいし、気づかされることばかりでした。グループで話す中で立場が違うからこそ知れることばかりでこのような会をずっと続けてほしいし自分も参加していきたいです。
16	保護者の方の思い、不安等を聞かせていただけてよかったです。子どもさんや保護者、それぞれに状況は違うので、対応に迷う日々ですが今日の参加者と話すことで、少し心にゆとりを持てそうです。
17	学校の取り組みや日常の関わり方を考える良い機会をいただいたと思います。特に第1部のでんでんの方からの話はよかったです。
18	この会は継続して行っていく。教員に対して実態を聞いていただく大切な時間でした。

19	いろいろな親としての思いが聞けて良かったです。
20	当事者のお母さんの率直なお話が聞けて大変良かったです。
21	保護者の方、地域の方の声を直接聞かせていただき大変ありがたかったです。個別に対応しているつもり（自分の考え、偏った見方）になっている自分に気づくことができま
22	学校に来るだけがすべてではないと思います。自己満足という言葉がグサッと来まし
23	た。不登校は悪いものではなく「人生にとっての休息」と思うと、少し楽に感じまし
24	た。不登校の親御さんの話、思いを聞けて良かったです。
25	このような機会がとても貴重だと感じた。胸に響く心がたくさんあって、今後の実践に
26	生かしていきたい。
27	様々な立場の方の意見を聞くことができ、とても勉強になりました。特に保護者の方
28	の思いを直接聞くことはとても勉強になりました。またこのような機会があれば参加し
29	た。当事者の感想、現状を聞けて良かった。多くの立場からの話を聞くことで、今後にか
30	かすことができました。寄り添い方などを考えることができた。
31	立場の違いはあっても一番大事なことは、子どものところに寄り添って常に接していく
32	ことができればよいと思った。
33	今回のような研修会ができたのも亀山らしさであると思います。すべての教職員が共通
34	理解できるよう続けていくことが大切であると思います。
35	パネリストの方々の報告、現実の話として聞かせていただきました。自らを振り返る中
36	で間違った対応もうまくいったことも、ケースによって様々だと思います。このような
37	学習を重ねていくことが大事だと思います。
38	自分の思いが、必ずしも子どもの思いと合うかわからない、ということを知ることがで
39	きました。自分が良かれと思ってしたことが、かえって子どもの負担になっていること
40	もあると、振り返る良い機会になりました。何がベストな選択か、子どもに寄り添って
41	いく必要があることを再認識して明日からの実践につなげたいと思います。
42	今の「その子」をすぐに変えようと思わない。今休んでいるのは「その子」の長い人生
43	のうちの休憩タイムととらえる。しっかり休むことができたら動けるようになる。とい
44	うお話を聞き気持ちが少し楽になりました。
45	保護者の様々な思いを知ることができたことが大変良かったです。子どもたち一人ひと
46	りにどのように対応していけばいいか考える機会を与えていただきました。
47	「聞く」ことの大切さだとあらためて感じました。これまでの知識、経験も大切なこと
48	だと思いますが、白紙の状態で聞くということこれからしていきたいと思いまし
49	た。保護者の経験を話していただいたので、学校でできることはしたいと思いま
50	す。学校と保護者との対話が大切であると思うし、お互いの思いをわかるように努力したい。
51	保護者の方の思いが知れてよかった。もっといろいろな場につながるとよいのではと思
52	います。
53	保護者の方の生の声が聞けてよかった。
54	グループの話し合いは人数が多いと深まらないように思います。
55	保護者の方が実際に感じたことを知ることができてよかった。生徒、保護者にとってど
56	んな行動がよくてどこを改善すべきかを考えるよい機会になった。
57	保護者や地域の立場から不登校についての会話を聞けてとても勉強になりました。特に
58	学校内で不登校児童の共有をしてほしいや細やかな配慮を必要とすることを覚えてほし
59	い等、たくさん話を聞けるよい機会になりました。

40	当事者の方やさまざまな立場の生の声をいろいろ聞かせていただき、とても参考になりました。子どもだけでなく保護者の方の不安を受け止め、共に歩いていけるよう信頼を得られるよう努力していきたいと思います。
41	でんでんの保護者の話は、とても分かりやすかった。不登校の親の気持ち、子どもの様子を知ることができました。子どもとの関わり方を勉強できた。
42	保護者の方の思いや実体験を知り、自分自身の実践をふり返り、多くの課題を見つけることができました。今後もこのような会が定期的に行われてほしいです。
43	学校になかなか来れない子どもには「〇〇して指導する」というようにこれといった支援はないのかなと思いました。子どもの保護者の気持ちや特性を、時間をかけて理解し、その子その子に応じた対応が必要なのだろうと思いました。むずかしい問題です。
44	グループワークのテーマや時間設定をもう少し焦点化すればもっとよかったと思います。でも多くの人が集まり話し合えたことはとてもよかったので、これが2回目3回目と続いていくことを期待します。
45	第1部の保護者の話が響きました。いつ、何度聞かせていただいても、生の声がこれからの私たちのエネルギーになるんだと思います。
46	現在学校に行きづらい子を持つ保護者や担任の先生からリアルな話を聞いてよい経験となりました。
47	今まで自分ができていなかったことを知ることができました。母親と子どもとの関りも十分になかったと思いました。なので今後のことを考えられるよい機会となりました。ありがとうございました。
48	現場の先生方が意見交換する場の役割はなかったのか。実際不登校の子たちに接して困っていることなど共有できる時間があれば良かった。
49	話を聞かせていただく中で、できれば子どもが難しければ保護者のコミュニケーションを丁寧に行っていききたい。
50	不登校の子と担任していた時のことを思い出しながら、でんでんの保護者の方のお話を聞かせてもらっていました。何とかクラスに入れるようにと、始めは思っていたのですが、本人と話すうちにその子自身が選んだことを尊重することの大切さに気づきました。子どもやお家の方の思いを知ることが何より大切だと思います。何を望んでいるかや学校に対する思いも人それぞれだということを忘れずにいます。
51	子どもの思いをしっかりと受け止めて様々な子どもに関わってきたつもりだったが、今日保護者の方の話を聞いて、自分のしてきたことが本当によかったのか、もっとできたことはなかったのかと、自分をふり返る機会になった。一人ひとりに応じてその子が何を求めているのかをしっかりと受け止めていきたい。
52	HSC（高い感受性を持つ人）という言葉は初めて聞きました。生まれた性質・・・ホットしました。尊重していきたいです。
53	その子その子によってタイプが違うので、いろいろな体験を聞いてよかった。寄りそっていくことが大事なのだと思う。
54	子どもが心をいやす時間をゆっくりと見守っていく親の姿勢が大切であると思いました
55	今回様々な立場の人がいて、様々な意見を聞いてとても良かったです。自分自身はいろんなことをしているが、それがその方（人）にとって良いのかなどいろいろな思いが出ていろいろなことを聞くことによってわかってきた。
56	保護者、学校関係者、支援者が一堂に会し、報告、説明、討議ができたことは、理解を進める上で、素晴らしい企画であると思います。

57	保護者の方の思いを直接聞くことができ、よかったです。本人とご家族の思いをしっかり聴くことの大切さを痛感しました。
58	保護者の学校（教師）への思いが伝わってきた。
59	知ること イメージに縛られない 心に残りました。本当によかったのか 思いを受け止めて寄りそってこれたのか 来てくれると嬉しい 顔が見れてよかったというこちらの思いが強すぎていないかと 振り返る機会になった。
60	不登校には単に学校に来ていないということだけでなく、二次障がいや影響したり、学習障がいや影響したりすることに改めて気づかせてもらいました。まずは第一欲求として、安心安全の場を与えられるように、学校側として温かく迎え入れる雰囲気づくりと親御さんとの密な連携を大事にしていきたいです。
61	実際保護者の方から「対応で残念だったこと、困ったこと」を聞く機会が無いので、貴重な場になったと感じました。
62	保護者の方の想いを直接聞くことができ、大変参考になりました。よかった対応は勿論ですが、よくない対応も耳が痛い話ではありましたが、非常に理解できる内容であり、これからの子どもたちへの対応の参考になりました。
63	今日の研修会を通じて、子どもの特性をしっかりと見抜いて学校として体制を整えることが肝心であると学びました。また保護者の方の率直なご意見を聞かせていただくことができ大変ためになりました。
64	不登校の保護者の方や学校の先生と話し合っていく中で、具体的な対策 ノート交換をする 先生たちの中での共有 コミュニケーションを密にしていくことなどが出されて、各校での検討材料になったようです。また先生のみ考えるのではなく、関係機関、地域等も共有して、子どもに接していくことも大切であると思いました。
65	様々な立場の先生や保護者の方と顔を合わせて交流する機会自体が少なかった数年間でしたが、久しぶりの機会をいただいて、子どもをテーマに思いを伝えあえることができ、有意義な時間を過ごせました。ありがとうございました。
66	念願の学校の先生との対話の第1歩かなって嬉しかったです。学校や相談の場とは違うお互いの本音を話せる気がしました。この場を設定して下さった亀っ子サポート 教育委員会の皆様 忙しい中に参加して下さった先生方や地域の方、勇気を出して発言してくれた保護者やでんでんの皆さんに心から感謝いたします。今後も「子どもが安心して楽しく学び育つ環境」について話し合っていきたいです。
67	たくさんの方の参加で、とても嬉しくなりました。先生の割合はわかりませんが、先生と保護者とあの場でともに子どもたちのことを考えられたのは素晴らしいことだと思いました。でんでんの皆さん関係者の皆さんありがとうございました。
68	不登校にはいろいろな原因があると思うが、中には福祉の関係サポートが必要

問7 子どもを育てるにあたって、教育者や支援者に期待することがあれば自由にお書きください。

1 多方面から子どもを支援していくために、市を中心に働きかけをしてほしい。今回のような場がとても大切であり、今後につなげてほしいと思います。
4 「困った」としてみることなく、他の子と同じように認める姿は周りの子どもたちに伝わる。それがその子への温かい目となり雰囲気となっていく。どうか焦らずに、卒業後大人になった後のその子のために良い環境を。
5 子どもを支える教員の増員をお願いします。
7 生きていくために必要なスキルを個性に寄り添いながら行うこと。 ・あいさつ・言葉遣い・読み書き・集団の中でのマナーなど ・職業について様々な情報を与える（キャリア教育を通して将来の目標を与える。）
8 学校だけで不登校の子どもや保護者を支えていくには限界がある。関係機関との協力体制を作り、円滑な対応につなげていくことは大切と考える。
9 分け隔てなく会話してほしい。親と先生との挨拶だけじゃなくて。コミュニケーションが必要。コロナで少なくなったものを、必要なものは戻していく必要がある。
11 忙しい中であると思いますが、一人で抱えないでほしいと思います。保護者の意見をよく聞いていただけるとありがたい。一緒に子どもを育てる気持ちを共有していただけるとありがたい。
12 人が足りないという話を、毎年聞きます。人が足りなくてはどうな良い先生でもよい教育ができないと思います。熱心な先生をつぶさないように、人とお金を出してください。よろしくお願いします。
13 十数年後、幸せな人生を歩んでいる子どもを想像しながら寄り添って下さるとうれしい
14 子どもたちが個性を認められ、自信を持って過ごせるようになっていけば良いと思った。 30人1学級、一人の担任の先生に一人ひとりの様子を感じて・・・は難しいと思っ
17 学校は組織として対応していく必要がある。仮に良い対応ができた年があったとしてもそれが次年度も続くとは限らない。複数の教員がつながりながら、持続可能な対応にならないといけないと感じた。
18 個人は個人としてみていく。
19 その子にいかによりそうか。これが一番です
20 支援するタイミングが大変重要だと思います。子どもはそれぞれ個性があるため、その特性を知り一番良い言葉をかけられるとよいかと考えます。
22 学校関係者なので、今まであまりうまくいかなかった対応などを知れるとありがたいで
23 子どもたちのサポート教室ができたのはとてもいいことだと思う。
26 地域、関係機関との連携が大切である。
27 子どものところに寄り添って聞き役になってあげることが大事。安心できる居場所があれば希望が持てるようになると思う。
28 一人ひとりの思いを聞き、寄り添う姿勢で接していくことが基本であると思います。
29 価値観の多様化「ふつう」「標準」とは、もっと視野を広げて柔軟に考えることができるようになりたいです。
33 「しんどい思い」に早めに気付けるようにしていきたいです。
35 もっと対応してくれる人、場が増えるとよい。ふれあいももっと交通の便の良いところに代わるとよい。

37	不登校支援に取り組んでいます。その中身をしっかりと見直す必要がある。アウトリーチ支援その実践は？
39	このような研修や共有を定期的で開催していただきたい。
41	地域の方たちが関わり認め合う社会を作ってほしい。
44	・だれもが行きたくなる たのしくなる魅力ある学校づくり、学級づくり ・子どもの多様性をとことん認める、尊重する。
52	関心を持つことが大切
53	子どもが趣味や興味を持ったことを、先生が見つけ出してくれると
56	行政にも参画してもらった支援ネットワークを作ってほしい
58	理解できなくても、わかろうとすることが大切だ（姿勢）
60	ふれあい教室、かめっこの活動内容を少し聞かせていただき、今後も子どもたちの安心安全の場が、自己実現の場になっていただきたいと思います。
62	その子その子に応じて、状況や困り感はそれぞれ違うので、先入観をなくし話を聞いた り、支援の方法を探ったりすることが大切だと感じました。寄り添う 理解する 一人 ひとりを大切にする 普通や当たり前という先入観を押し付けない
64	個性に応じ 寄りそっていただく先生や支援する人が増えれば子どもたちが安心して暮 らしていける。そういう環境づくりができればと思います。
65	保護者の方々のお話からも感じましたが、共感や寄り添い、関わり方を柔軟に変えられ ることを求められているのかなと思いました。
66	教育者・支援者 対 子ども・親ではなく、一人の子どものための教育者、支援者、親 で協力しながら、一緒に子どもを育てていきたいです。情報をお互いに共有しながら役 割分担をして、信頼しあっていきたいです。子どもにとっても親にとっても、先生は良 くも悪くも とても大きな存在です。できればよい方が増えてほしい。
67	私も子どもに寄り添える 集団からはみ出た子どもも尊重できる大人でありたいし、 そんな方に子どもを預けたい。時間にも心にもゆとりがない教育現場なのであれば、よ い先生もつぶれていくし、教師になろうとも思えないのかもしれない。
68	学校だけで解決すると思わない

問8 子どもを教育していくにあたって、保護者や支援者に期待することがあれば自由にお書きください。

1	子どもの特性を見抜くことは教育者としては大切であり、なくてはならないものだと思います。引継ぎなどを大切に、子どものために頑張ってほしいと思います。
2	「先生の努力に感謝している」という言葉を聞くことができ、ありがたかったです。学校と保護者が、一緒になって、子どもの成長を見守る意識を、学校も保護者も忘れずに、子どもに接することができればいいなと思います。
4	親の不安（将来、お金のこと、世間体）と子どもの不安を一緒にしないようにしていけたらいいな←これが一番難しいけど。子どもにとって居心地よくどれだけの時間を過ごせるのかが、学力より、友達の多さより大事。とても意義のある時間でした。準備はとても大変だと思いますが次回の開催を楽しみにしています。ありがとうございました。
6	不登校の原因は、学校側だけではなく、家庭内にもあるということ、少し考えさせられました。保護者の考えや話を聞いてほしいです。
7	・挨拶など「しつけ」にあたる部分 ・「子どもの話をしっかり聞くこと」で困りごとや夢などに気づくことができるので、その内容を学校と共有し支援のあり方を考えて行けると思う。生徒との、保護者との信頼関係ここが基盤。子の話、保護者の話をよく聞く。外部の専門家の力を借りることが
8	まずは互いに理解し協力し合う姿勢が根底になれば、難しいと感じています。それぞれからできることを精いっぱいやっているのだという相互理解があって、議論はその次だと考えます。
11	子どもはひとり一人違うこと。特性の理解を深めること。人に頼ること。
15	本音を教えてもらえる方がありがたい。毎日の生活で必要なことだけの話ではなく、気づきや思いを知ったうえで関わらせてもらいたいです。
16	保護者の方の思いを知る。つながることで、子どもへのアプローチを考えるきっかけになるように思います。保護者と関わる機会を作りたい。支援者の方にはその家族に関する情報をたくさんいただきたいです。
17	学校には思いや考えを伝えてほしいと思う。同じ考えをもって、同じところを目指して進めていきたい。但し学校の対応が負担（子ども、先生にとって）とならないよう、対話を通して本音が出せる関係性の構築を考えてほしい。
18	一緒になって考え学ぶ。そして楽しむことが大切。
20	教育できるようになる前が非常に大切であると考えます。本人のエネルギーをためていくことがまず必要
21	つながりを持ちたいが、それが過度の負担になることもある。その時は遠慮なく担任に伝えてほしいです。一緒に考え悩み関係を作っていきたいと思います。
22	後日、どんな声があったのか知れるとうれしいです。
23	なんでも思いを伝えてほしい。願いを受け止めて、実践につなげていきたい。
26	地域ぐるみで行っていく
27	子どもと一緒に体験すること。子どもの成長に合ったスピードで関わっていくこと
28	今回のように互いの思いを聞き合うことは大切だと思いますので、このような関係づくりができればと思います。
29	子どもの居場所、安心できる心のよりどころは、絶対必要だと思います。
32	学校に常駐の不登校対応の専門家が欲しいです。相談室対応の教師も全く足りていません。それが現状です。

35	もう少しゆっくりと関わるとよいかと思ひます、
36	不登校の原因が幅広いと思ひますので、それぞれの子どもにあつた方法を考へていく必要を感じます。
38	思つたことがあればいつでも伝えていただきたいです。保護者の方だからわかる対応の方法や学校についてどう思つているのかなどは知りたひ。間接的にでも話し合ひができるツールがあるとよい。
40	学校と保護者、周りの方々、子どもの困り感に寄り添ひながら、未来を担う子どもたちを育てていきたいと思ひます。
42	教員も日々目の前の子どもたちのために奮闘してゐるので、このような場をきっかけに率直な思ひや意見を知りたひ。
44	対話すること
45	子どもの声や気持ち、保護者の声や気持ちを届けてほしいです。私たちは、その声や気持ちを届けていいんだと安心し、信頼されるようにならなければいけないと感じまし
46	言いづらひことでも、直接出なくてもいいので、学校に情報を共有させてほしいです。
47	なんでも伝えてほしいです。
50	なんでも話して欲しいです。子どもだけでなくお家の方ともつながりたいと思つていま
51	子どもに関わる周りの人（学校 保護者 支援者など）が同じ方向を向いていくことが必要だと思ふので、互ひに様々な思ひを共有してきたい。
52	反省すること、人の話を聞くこと
56	フリースペースなど安心できる場を、各学校区に設置してほしい。
58	できる事、好きな事を見つけよう
60	学校でのことを保護者の方と交流し、学校・家庭両面から支えていけたらと思ひます。
62	子どもたちに応じた様々なサポートの場が増えるといいと思ひます。
63	敵対するのではなく、コミュニケーションを密に取りながら協力させていただきたひと思ひます。よろしくお願ひします。
65	困り感の共有やありがた迷惑も含めた学校が提案する事への正直なレスポンス。本日はいろんな思ひや正直な反応を聞かせていただき、支援の手掛かりになりました。
66	子どもたちの一番身近な保護者や支援者は、セーフティネットのようなものだと思ひます。子どもがどんな状態でも只ひたすら信じて待つこと。一人だとめげそうになりますが、お互ひに励まし合ひながら、がんばってきたいです。私たち大人がいろいろあつても前を向いて 希望をもって 楽しく生きる姿を見せることが大切だと思ひます。
67	近所や昔からの友、パパ、ママ友はいたが、この悩みの内容が年々離れていき孤独感を覚えた。子どもにも友達はいたが中学になると離れていった。子どもだけでなく大人の私でさえも考へを否定されない意見を押し付けられないでんでは心のサポートになつてとてもなければならぬ所です。子どもも保護者も一人に抱え込ませないことが重要だと思ひます。本田秀夫さん初めて知りました。私自身も反省です。「理解しきれない人との共存し耳が痛い、できるようにしたい」